

教えて！  
水滴くーん！

水道  
Q&A



今回はスペシャル企画！

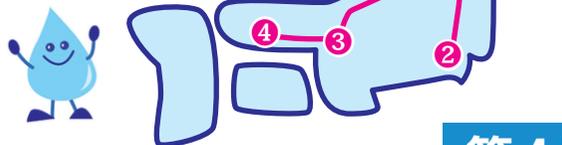
水道クイズ!!

答えは中を見てね！

### 第1問

酒田市水道局が水道を提供するために引いている水道管の総延長はどのくらい？

- ①200km 酒田－福島
- ②543km 酒田－東京
- ③743km 酒田－大阪
- ④1,044km 酒田－広島



### 第2問

酒田市で一日に使用される水の量は、どのくらいかな？

- ①プール約10杯
- ②プール約50杯
- ③プール約100杯

■プール1杯は、約375㎡。  
1㎡は、2リットルペットボトル500本分です。

### 第3問

平成25年中、酒田市全体の水の使用量が一番多かったのはいつ？

- ①1月1日 お正月かな
- ②8月16日 お盆だよ
- ③8月17日 一番暑かった日
- ④12月24日 クリスマス



### 第4問

市販のミネラルウォーターペットボトル1本(500ml)は約100円ですが、同じ100円で水道水はどのくらい使えるでしょう？

- ①100本分 50リットル
- ②500本分 250リットル
- ③1,000本分 500リットル
- ④2,000本分 1,000リットル



水道料金のお支払い、閉開栓、名義変更、その他水道に関するお問い合わせは…

## 酒田市水道お客さまセンター

TEL.0234-22-1811 FAX.0234-22-3160

お支払等の  
窓口営業時間  
(平日)  
8:30~18:00  
45分延長!

■にごり水や断水についての情報は酒田市水道お客様センター Facebookやホームページをご覧ください。  
酒田市水道お客さまセンターホームページ <http://www.sakata-wtsc.com/support/>  
酒田市水道局ホームページ <http://www.water.sakata.yamagata.jp/>

## 酒田市水道広報

# みんなの水 さかた

【編集・発行】 酒田市末広町14-14  
酒田市水道局 0234-22-1812

平成26年夏  
第5号



### ●主な内容

## 業務改善～水道局の取り組み～

みなと酒田トライアスロンおしんレースで給水  
6月15日(日)、酒田市水道局から給水車を派遣し、全国各地から集まった選手に対して、給水の支援を行いました。

## 『プールみたい!!』

### 市内の小学4年生が小牧浄水場を見学

小学校4年生の社会科では、「くらしと水」について学習しています。今年度も、酒田市内の各小学校の4年生が小牧浄水場の見学に訪れました。子どもたちは、担当者の説明に熱心に耳を傾け、目を輝かせながらノートいっぱいメモを取っていました。

平成25年度は、24団体741人が見学してくれたよ!

説明を受けた後、場内を見学し、水道水の作り方について理解を深めました。

(写真は、浜田小学校4年生のみなさんです。)



# 業務改善～水道局の取り組み～

## 水道事業は独立採算

水道事業は、基本的に独立採算で、お客さまからいただいている水道料金が主な収入（給水収益）です。

今後、給水人口の減少に伴う給水収益の減少が見込まれ、水道事業の経営は大変厳しい状況にあります。このため、水道局では様々な経費節減や民間活力の導入、業務の見直しなど、業務改善に取り組んでいます。

## 水道局の様々な取り組み

### 例1 メーター分解業務委託で福祉施設も水道局も笑顔

これまで、使い終わった水道メーターは、新しい水道メーターを購入する際に下取りに出していましたが、平成25年度から、水道メーターの分解を障がい者支援施設へ委託しています。

受託した障がい者支援施設は、分解して金属部分のみを水道局へ返却します。水道局は、金属をリサイクル業者へ売却し、下取りよりも高い売却益を得ることができました。受託施設も分解委託料により収入を得ることができ、障がい者支援にも寄与しています。



### 例2 民間活力の導入～包括的な業務委託の実施

#### ①小牧浄水場の運転・管理を包括的に民間委託

平成16年度から小牧浄水場の運転の一部委託を開始。段階的に組織のスリム化を進め、平成22年度からは、運転・保守管理業務等を包括的に民間企業へ委託し、民間ノウハウの活用と経費の節減を図りました。

#### ②酒田市水道お客さまセンターの開設

平成26年度から、水道料金の収納や閉栓の受付などの窓口を地元の民間企業・団体が組織する協同組合に委託し、経費の節減とお客さまサービスの向上を図りました。

職員数の削減  
平成15年 71人 → 平成26年 40人  
▲31人



# 酒田市の水道

## 酒田市の水道は84歳になりました

酒田市の水道は、1930年（昭和5年）に創設され、今年で84年になります。創設以前は、川や井戸の水を利用して生活しており、水を汲んでくるとは大変な重労働でした。戦後は人口増加に伴い、水が不足し、断水することがよくあったようですが、水道施設の整備により、現在は安定的に供給されています。

## 酒田には5つの水道があります

平成26年6月1日現在、酒田市には右図のとおり、5つの水道があります。

酒田市上水道の水は、最上川と田沢川ダムを水源とする水です。

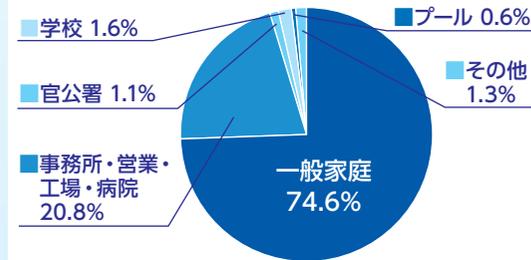
八幡簡易水道は升田の地下水、飛鳥簡易水道は島にある貯水池の水、柏谷沢・大台野は地下水が水源です。

大台野地区の水道は、酒田市（八幡総合支所）が運営しています。

## 酒田の水道水を支える小牧浄水場

酒田市で使われている水の約53%は、最上川から取水して小牧浄水場で作られた水です。昭和5年の創設当時は、最上川の伏流水（地下水）が水源でしたが、増大する配水量に対応するため、昭和47年から表流水を取水する方法に変更されました。

## ■水の使われ方 (H25年度)



1年間に使われた水の量 12,067,399m³  
1日あたりの平均使用水量 36,214m³

※有収率とは、「収入につながった水量(有収水量)÷年間配水量」です。



## ■主な指標 (H26.3.31現在)

給水人口	108,295人
給水世帯数	41,556件
水道の普及率	99.61%
年間配水量	13,217,319m³
有収率※	91.30%



用途	有収水量	比率
一般家庭	9,010,920	74.6%
事務所・営業・工場・病院	2,504,548	20.8%
官公署	127,789	1.1%
学校	192,207	1.6%
プール	67,299	0.6%
その他	164,636	1.3%
合計	12,067,399	100.0%